

我が県土  
支え育む  
希望郷



美しい

# 県土づくりNEWS

2019年

10月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第183号  
令和元年10月31日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 ありがとう 東京都・静岡県・福岡県  
「海岸防潮堤復旧工事への支援に感謝する会 in 片岸海岸」  
を開催しました！
- 5 (仮称)道の駅「西南」新築工事の安全祈願祭を開催しまし  
た
- 6 内丸地区落葉清掃、今年も始まりました！
- 7 地震に強い住まいづくりを支援します！  
～耐震改修促進月間の取組と木造住宅耐震診断・改修事  
業のご案内～

# 三陸復興

## 海岸防潮堤復旧工事への支援に感謝する会 in 片岸海岸を開催しました！

東日本大震災津波により被災し、沿岸広域振興局土木部管内で進める災害復旧事業（防潮堤、水門）については、発災直後より継続的に東京都、静岡県、福岡県などから数多くの職員（延べ約160名）を派遣いただくなど御支援を受けながら進めてきました。

この度、片岸海岸が完成し、釜石市内の海岸防潮堤のすべてが完成となったことから、事業に従事された応援派遣職員並びに職員を派遣いただいた都県のこれまでの支援に感謝の意を表するため、令和元年10月9日（水）に片岸海岸において「感謝する会」を開催しました。

この会には、沿岸広域振興局土木部に派遣されている応援職員、派遣元である東京都、静岡県、福岡県の職員、沿岸広域振興局職員及び工事関係者等約50人が出席しました。



完成した片岸海岸防潮堤の前で出席者による記念撮影（背景のパネル「未来ヘトライ」は釜石市が設置）

# ありがとう

東京都・静岡県・福岡県

「海岸防潮堤復旧工事への支援に感謝する会 In 片岸海岸」を開催しました！

## 沿岸広域振興局土木部

東日本大震災からの復旧事業として、沿岸広域振興局土木部が建設を進めてきた釜石市内の4つの防潮堤（水海海岸、釜石港海岸、小白浜海岸、片岸海岸）が完成し、工事に関わった全国からの派遣職員に感謝を伝える会を令和元年10月9日（水）に開催しました。

工事には全国の自治体から職員が派遣され、関係者との調整や現場監督、積算業務などに関わってきましたが、先月末に、最後の片岸海岸防潮堤が完成したことから、これまでの支援に感謝しようと、今回、復旧工事に従事した東京都や静岡県、福岡県などからの応援職員を招いたものです。

この中で、県沿岸広域振興局石川義晃局長は「我々だけでは到底成し遂げることができなかった大工事を完成に導いてくださった皆様に、お礼を申し上げます」と感謝の言葉を述べ、感謝状を贈呈しました。

東京都建設局奥山道路監及び静岡県交通基盤部長縄理事からの祝辞では「我々職員が被災地の津波防災施設に携わることができ、貴重な経験となった」という言葉がありました。

●出席者 （約50名）

- 東京都：建設局道路監及び同職員、応援派遣職員
- 静岡県：交通基盤部理事及び同職員、応援派遣職員（OB含む）
- 福岡県：県土整備部職員及び応援派遣職員（OB）
- 施工業者：片岸海岸防潮堤工事施工者
- 岩手県：沿岸広域振興局長及び同職員

●主な内容

- 式辞、祝辞、完成報告、感謝状贈呈銘板序幕、記念撮影、見学会

※参考

### 沿岸広域振興局土木部管内（釜石市・大槌町）の防潮堤・水門災害復旧工事の進捗状況

注）事業費：公表値、完成時期：工事の引き渡し

令和元年9月30日現在

災害区分	海岸名	主な工事内容	事業費	完成時期	
海岸災害復旧	水海海岸	防潮堤 300m、 水門 2 門	約 13 億円	H28. 3 月完成	今回の 式典 対象
	釜石港海岸	防潮堤 1218m、 陸閘 7 基、水門 1 門	約 73 億円	H31. 3 月完成	
	小白浜海岸	防潮堤 433m、 水門 2 門、陸閘 1 門	約 67 億円	H31. 3 月完成	
	片岸海岸	防潮堤 818.3m、 樋門 1 基	約 123 億円	R01. 9 月完成	
河川災害復旧	大槌川水門	水門 4 門 L=148m、 防潮堤 300m	約 191 億円	R03. 3 月予定	
	小槌川水門	水門 3 門 L=88.5m	約 103 億円	R03. 3 月予定	
	鶉住居川水門	水門 5 門 L=180m、 防潮堤 275m	約 188 億円	R03. 3 月予定	
	甲子川水門	水門 4 門 L=124m	約 154 億円	R03. 3 月予定	

●式典の様子

＜銘板は4海岸防潮堤の頂上又は壁に設置します＞



祝辞（東京都奥山道路路監）



祝辞（静岡県長縄理事）



経過報告（静岡県派遣職員）



感謝状贈呈



銘板除幕



東京都奥山道路路監及び職員（派遣職員を含む）



静岡県長縄理事及び職員（派遣職員を含む）



福岡県職員



記念撮影（防潮堤天端にて）

●おわりに

今回完成した4つの防潮堤は、本県と東京都、静岡県、福岡県と志を一つにして築き上げたものであり、引き続き4都県の絆（きずな）を末永く大切にしていきます。

片岸海岸災害復旧事業（岩手県釜石市片岸町地内）

○海岸保全施設の被災状況



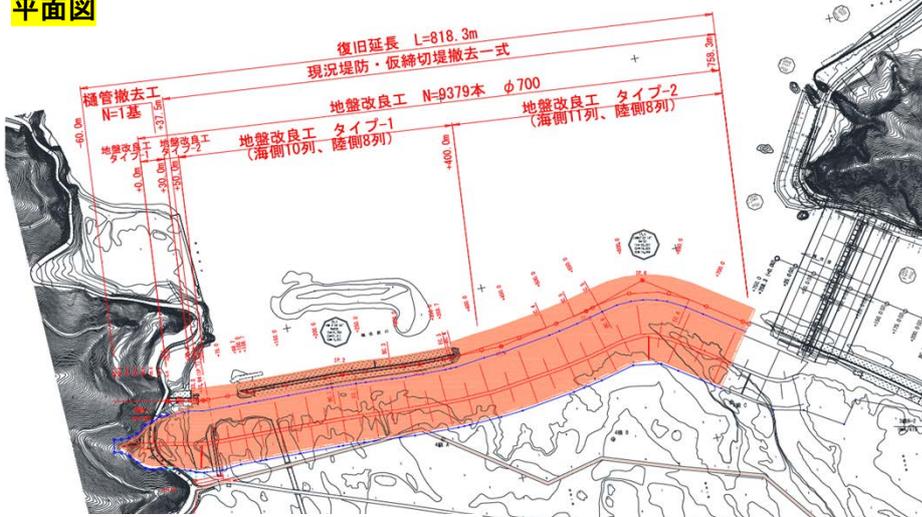
○完成写真



○海岸保全施設の復旧計画

- ・施設の概要 防潮堤 818.3m、樋門1基
- ・位置 被災後の地形を考慮し、従前より背後に設置
- ・高さ 大槌湾の設計津波高さ（TP+14.5m）で復旧
- ・事業費 約123億円
- ・工事期間 平成25年8月28日～令和元年9月27日（工事完了）

平面図



別途事業で案内看板を設置

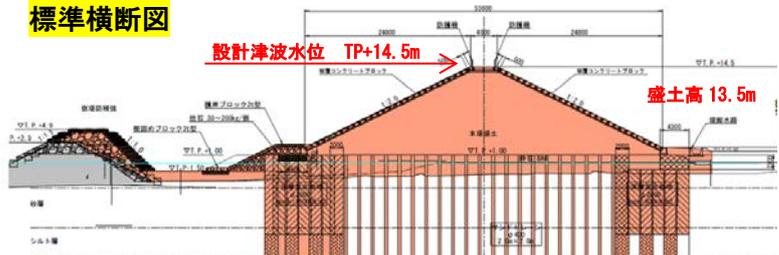


防潮堤天端では見学会などを実施



※旧防潮堤（右側）は、前浜の安定確保のために存置

標準横断面図



○土地収用による用地取得

片岸海岸は、国の土地収用法を導入するモデルケースに指定された箇所であり、平成25年8月19日に認定庁（東北地方整備局）により事業が認定されました。

1件目「所有者不明の41名共有地」については、平成26年6月5日に、2件目「相続が未処理の土地」については、平成26年9月8日に、それぞれ収用裁決がなされ、本格的な工事が可能となったものです。

当該事業においては、国の特例制度により、通常事業では土地収用まで3年程度かかる手続きが1年程度と大幅に短縮されました。

**(仮称) 道の駅「西南」新築工事の安全祈願祭を開催しました**

県南広域振興局土木部花巻土木センター

主要地方道盛岡和賀線の花巻市太田・轟木地内に花巻市と共同で整備を進めている(仮称)道の駅「西南」については、令和2年度の開駅に向けて、昨年度から造成工事を進めてきました。10月10日、建築工事等の着工に伴い、工事受注者(建築:株照甲組、電気設備:日成株、機械設備:株理水興業、外構:株船野組)主催による安全祈願祭を開催しました。

安全祈願祭には、県、花巻市、地元関係者、工事関係者等約60人が出席し、鍬入れや玉櫛奉奠等で工事の安全を祈願しました。

花巻市長からは、当該路線及び道の駅の重要性等も踏まえ、「西南地区には商業施設が少なく、道の駅の完成により住民の利便性が高まるものと期待している。また、地域にとって大事な施設となることを期待したい。」とあいさつがありました。

また、道の駅の名称及び愛称については、当該地域の特徴を表し、来訪者に末永く愛される道の駅とするため、花巻市において公募のうえ委員会の選考を経て、名称を「はなまき西南」、愛称を「賢治と光太郎の郷(さと)」と8月に決定しており、現在、道の駅の登録申請を行っています。

引き続き、花巻市及び関係機関との調整を行いながら、令和2年度の供用を目指し、事業を推進していきます。



# 内丸地区 落葉清掃、今年も始まりました！

盛岡広域振興局土木部



今年で16年目を迎える内丸地区の落葉清掃を行っています。

実施日：10月17日（木）～11月14日（木）頃までの月曜と木曜の週2回

内丸地区を通る国道455号（中央通）の街路樹（トチノキ）は、夏には木陰を提供し、歩行者に憩いを与え、秋になると紅葉により季節を感じさせる一方、落葉により交通や歩行へ支障を与える状況となります。

そこで、道路を管理している盛岡広域振興局土木部では、業務委託による清掃に加えて、平成16年度から関係機関にも呼びかけ、朝の勤務開始前の時間（午前8時頃から20分程度）を利用して、落葉の清掃活動を行っています。

内丸地区では、周辺に所在する国と県の行政機関（盛岡地方裁判所、法務合同庁舎、国合同庁舎、盛岡東警察署、県議会事務局、県庁、盛岡広域振興局等）の職員有志によるボランティア活動として落葉清掃に御協力をいただいているところです。

街路樹等の落葉清掃はそれぞれの地域の方の御協力が必要です。内丸地区に限らず、御協力をいただいている地域の皆様方、11月も引き続きよろしくお願ひします。



10月実施の様子

落葉清掃の範囲



### ご注意

今年は一部歩道が工事のため制限されています。工事箇所付近は通行されている方との接触に十分ご注意の上、作業をお願いします。

# 地震に強い住まいづくりを支援します！

～耐震改修促進月間の取組と木造住宅耐震診断・改修事業のご案内～

建築住宅課

県は10月の「耐震改修促進月間」に市町村や協力団体<sup>※</sup>と連携して、木造住宅の戸別訪問や耐震相談会を実施しました。

現在、県及び各市町村では、昭和56年以前に建築された木造住宅について、耐震診断の事業や、耐震改修に対する補助事業を実施しています。事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

※ 一般社団法人岩手県建築士会、一般社団法人岩手県建築士事務所協会

## 【耐震改修促進月間の取組について】

昭和56年以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅は地震に弱く、大地震により住宅の倒壊などの危険性があります。

県では、毎年10月を「耐震促進運動月間」と定め、平成19年度から岩手県耐震改修促進計画の推進のための取組を実施しています。今年度は市町村や協力団体と連携して、旧耐震基準で造られた木造住宅が比較的多く集まっている地域での戸別訪問や、耐震相談会を実施しました。



戸別訪問（盛岡市 約80戸）



耐震相談ブース（二戸市技能祭）



戸別訪問（宮古市 約80戸）



会場の様子（二戸市技能祭）

## 【木造住宅の耐震支援事業について】

県内の市町村では木造住宅の耐震診断及び耐震改修を行う場合に補助制度を設けています。補助制度を利用した耐震改修の流れは次のとおりです。(市町村により補助制度の詳細や助成額は異なります。)



耐震性が不足している場合には、耐震診断結果の詳細な説明や必要な耐震改修工事の概要などについて、無料で個別相談ができる制度もあります。

これまでの地震に耐えたから今後も大丈夫と過信せず、大切な家族の命と財産を守るため、事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

制度の詳細やお申込み方法は、お住まいの市町村の担当課にお問い合わせください。

## 【市町村の担当課・募集状況(県HP)】

耐震診断： ページ番号検索

耐震改修： ページ番号検索